

6月14日(日)

まで応募期間延長中！
ぜひご参加ください！

海の森で未来を考える



2026 国際地域課題 共修プログラム

インドネシア・ハサヌディン大学
の学生と共に学ぶ多文化共修

対象者も博士課程
前期・後期に
拡大しました！

プログラム内容

インドネシア・ハサヌディン大学で、現地の学生と共に、マングローブ生態系と持続可能な沿岸開発を学びます。

渡航期間

2026年8月23日(日)～9月9日(水)

※日程及び内容は現地事情等により変更となる場合があります。

募集人数 6名(残り枠わずか！)

単位 2単位 参加費 5万円

対象 博士課程前期・後期に在籍する学生
(国籍・所属研究科・専門分野不問)



応募は
こちら！！

※応募はコードを読み取ってアクセスしてください。
※応募に際してはもみじ掲示の募集要項を熟読してください

マングローブ生態系と持続可能な沿岸開発

Makassar, Indonesia

Mangrove Fieldwork

ハサヌディン大学学生との共修

文化体験・フィニン船夕食会



現場を見て、問いを立て、解決策を形にする。

インドネシア・マカッサルを拠点に、マングローブ保全と沿岸開発の課題を学ぶ実践型プログラムです。現地調査、学生交流、文化体験、ワークショップを通じて、社会実装につながる提案づくりに挑戦します。

期間 2026年8月23日-9月9日	対象 博士課程前期学生	主な活動 現地調査/比較調査/文化理解/ワークショップ/最終提案
-----------------------	----------------	-------------------------------------

このプログラムで体験すること

専門的なフィールドワークと、地域社会・文化への理解を一体的に学びます。

マングローブ現地調査 ランテブン、ウンティア、PPLH Puntondoなどで観察・調査・インタビューを行います。	チームで課題分析 広島大学とハサヌディン大学の学生が協働し、地域課題の構造を整理します。	文化・社会理解 史跡、港湾、宗教施設、自然景観を訪れ、地域を多面的に理解します。	提案と実装検討 専門家・現地関係者とともに、提案の実現可能性や連携の道筋を考えます。
---	--	--	--

5つのステップ

「見る」から「提案する」まで、段階的に学びを深めます。

STEP 1 現場を観察する マングローブ地域を訪問し、地域課題を自分の目で捉えます。	STEP 2 問いをつくる 現地学生との対話を通じて、調査テーマを具体化します。	STEP 3 比較し、分析する 複数地域の事例を比較し、課題の背景を整理します。	STEP 4 解決策を磨く ワークショップで、実装可能性・連携先・実施経路を検討します。 現地関係者と広島大学の関連専門家も参加予定	STEP 5 社会への接点を考える 地域課題解決、国際連携、研究・実践への展開を考えます。
---	--	--	--	---

訪問地と活動

学生がイメージしやすいよう、主な訪問先と活動内容を整理しました。

Base ハサヌディン大学・マカッサル市内 オリエンテーション、学生交流、キャンパスツアー、グループ討論。	Fieldwork ランテブン・ウンティア マングローブ地域の観察、地域課題の把握、初期テーマ設定。	Interview PPLH Puntondo (Takalar) 利害関係者インタビュー、データ収集、現地調査。
Comparison トンケ・トンケ (Sinjai) 別地域のマングローブを訪問し、比較調査を行います。	Culture Rammang-Rammang・Bantimurung 自然景観・地域資源・観光と環境の関係を学びます。	City & Society Fort Rotterdam・Paotere港ほか 歴史、港町文化、宗教的・社会的背景を理解します。

あなたが得られる力

研究にも、実務にも、将来の挑戦にもつながる経験です。

課題設定力 現場から問いを立てる	問題解決力 調査から提案へつなげる	協働力 異文化・異分野で学ぶ	実装デザイン力 実現可能性まで考える	起業家的思考 社会課題を機会に変える	ネットワーク 現地・大学・専門家とつながる
----------------------------	-----------------------------	--------------------------	------------------------------	------------------------------	---------------------------------

将来にどうつながる？

研究志向の学生にも、実践・就職志向の学生にも、それぞれの次の一歩につながる経験です。

研究志向の学生へ 研究テーマと調査力を深める <ul style="list-style-type: none">フィールドで研究課題を発見する観察・インタビュー・比較調査を経験する環境、地域開発、国際協力などの研究視点を広げる	実践・就職志向の学生へ 社会で使える実践力を身につける <ul style="list-style-type: none">多文化チームで課題を整理し、提案する専門家・現地関係者と実装可能性を考える国際協力、地域開発、サステナビリティ、社会起業への関心を具体化する		
研究へ 修論・博士研究のテーマ発見、現地調査の経験に。	国際協力へ NGO、国際機関、地域開発分野への関心を深める。	企業・行政へ ESG、SDGs、地域連携に関わる実践感覚を養う。	社会起業へ 社会課題を新しい事業・プロジェクトの種として考える。

18日間の学び
現地調査、比較調査、文化理解、提案づくりをコンパクトにまとめたプログラムです。終盤にはフィニン船でのフェアウェルディナーも予定しています。

Day 1-3 移動・到着・オリエンテーション 広島出発、マカッサル到着、ハサヌディン大学学生との交流、開会式。	Day 4-6 現地観察・インタビュー ランテブン、ウンティア、PPLH Puntondoでフィールドワーク。	Day 7-11 分析・比較調査・解決策検討 グループ討論、トンケ・トンケ訪問、提案の方向性整理。	Day 12-14 文化・歴史・社会背景の理解 自然景観、史跡、港湾、宗教施設などを訪問。	Day 15-18 最終調整・連携協議・帰国 提案のブラッシュアップ、関係者との協議、フィニン船夕食会、帰国。
--	---	---	---	---

地域課題に向き合い、世界とつながり、未来をつくる。
専門分野を問わず、フィールドワーク、国際協働、サステナビリティ、社会実装に関心のある博士課程前期学生を歓迎します。

対象：博士課程前期学生
形式：現地調査+共修+最終提案
詳細：募集要項・応募フォームで案内